

OH!海土 活動報告

(第 11 号 2012 年夏版)

編集 黒坂 佳司 (幹事長/海洋 57)
奥山 裕史 (企画 /土木 4)
塚原 靖男 (企画 /環建 12)

2012 年 7 月 21 日発行

支部長挨拶 大仲 祥司 (土木47)



日頃から、会員の皆様には土木海洋会活動にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

2011 年 3 月 11 日に発生した東北関東大震災から1年を過ぎたというのに瓦礫の多くは取り残されたまま、まだまだ復旧、復興は進んでいるとは言えず、福島原発の放射線被害など住民の皆さんは苦労を強いられています。「立ち上がれにつぼん」をスローガンに皆で力を合わせて復旧、復興に努力されているのに「国民の生活が第一」など白々しい言葉を掲げて具体的な政策も掲げず内輪揉めをしている政治屋を見ていると腹立たしく思っているのは私だけでしょうか。

愛媛大学土木海洋会関東支部では幹事一同色々と知恵を出しあって企画を練って、会員相互の親睦と土木海洋工学における技術の発展に寄与することを目的に活動していますが、参加者の減少、恒常化が進んできており残念に思っています。この傾向は他支部、他大学同窓会も同様の問題点のようです。

食わず嫌いではないですが、行かず嫌いになっていませんか？この広報誌だけでは実感がつかめないと思います。一度参加していただき、会員みんなと親睦を図りながらご意見を賜り、この会をもっともっと有効に活用できる情報交換の場として改善してまいりたいと幹事一同願っています。是非一度参加してみてください。

今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

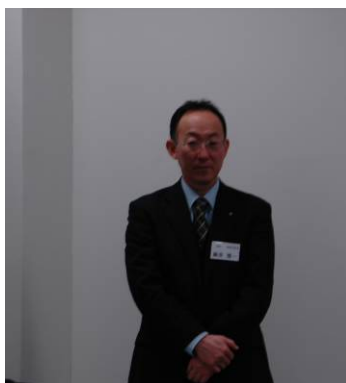
平成24 年度支部新年会の報告 H24.01.28 (土) キャンパスイノベーションセンター (JR 田町駅前)



平成24年度関東支部 新年会は、1月28日(土)に田町のキャンパスイノベーションセンター(CIC)5階リエゾンコーナー501において、24 名のOB /OG参加のもと開催されました。

大仲支部長の新年挨拶の後、河野土木海洋会会長殿より個人の価値をより高めるための方策、有次工業会東京支部長殿より学生時代の貴重なお話を挨拶にあわせていただきました。

また、東洋建設 鳴尾研究所の藤原隆一氏より、津波をテーマとした、「波に惹かれて 波・津波を知り、身を守る -東日本大震災を省みて-」と題しまして、専門的な波の解析の最新事情から、津波対策に関する現状と将来についてご講演頂き、時間いっぱいまで活発な質疑応答が行われました。



17時30分からは、場所を変えて、木村屋本店にて岩崎副支部長よりご挨拶いただいた後、支部会員の懇親を深めました。



第23回クラブOH! 海土 懇親ゴルフ大会の報告 H24.4.21 (土) 紫カントリークラブ (千葉県)



第23回クラブOH! 海土 懇親ゴルフ大会は平成24年4月21日(土)に、都心からアクセスの良い千葉県野田市の紫カントリークラブ・紫あやめコースにて、会員8名の参加で開催されました。

穏やかな春日和の中、大仲支部長の始球式の後、競技を開始し、実力No.1の武智修さん(海洋57)が優勝されました。次回(第24回クラブOH! 海土)の開催は平成24年11月3日(土)を予定しておりますので、これまで参加されていない方も是非ご参加方、宜しくお願い致します。

[連絡・問合せ先] 三井造船(株) 黒坂(海洋57)
電話: 090-3175-9184, E-mail: kurosaka@mes.co.jp



土木海洋会関東支部 若手挨拶

○ 日高達也 (環建21)



スペインにて サッカー観戦

平成22年に環境建設工学科を卒業した日高です。卒業後は、建設コンサルタント会社に就職しました。

「社会に貢献できる人になる」・・・約2年半前、私が就職活動をする際に軸としていた言葉です。そして就職活動を通して、社会基盤を支える建設コンサルタントという仕事を知りました。社会基盤インフラという広いフィールドにおいて、設計という立場から携わり、社会に貢献したいという考えから、建設コンサルタントという道に進もうと決めました。

そして現在、社会人3年目となりました。建設コンサルタントという仕事は、学生時代に想像していたよりもはるかに大変な仕事でしたが、その分とてもやりがいのある仕事だと思っています。正直なところ、まだまだ上司や先輩方に助けられてばかりで、社会に貢献できているという実感は全くありません。しかし、今は少しでも早く周りから信頼される社会人になれるよう、全力で仕事に向き合っています。

また仕事と同様、プライベートにも全力を尽くしています。社会人になり、学生時代の仲間とは違った、同期という存在ができました。飲みに行ったり、旅行に行ったり、時には言い争ったり・・・楽しいことも、苦しいことも共有できる大切な存在です。そしてこれからも大切にしていきたい絆です。

最後になりましたが、私は正直、愛媛大学海洋土木会の活動について、よく知りません。この機会を通して、今後の活動等に参加させて頂き、新しい繋がりができれば嬉しく思います。もし機会がありましたら、その際はよろしくお願いします。

○ 糸川 和樹 (環建 21)

皆様、はじめまして。本年度より新社会人となると同時に、土木海洋会関東支部に所属することになりました。よろしくお願いいたします。簡単にではありますが、近況の報告をさせていただきます。平成 23 年度に愛媛大学大学院生産環境工学専攻環境建設工学コースを卒業後、三井造船株式会社へと入社し、東京築地という新しい環境で仕事をしております。学生時代は構造工学研究室で橋梁の維持管理を専攻しておりました。現在は海外火力発電所 EPC 事業に携わっております。ちなみに写真は三井造船千葉事業所内にある風力発電で、現在の私の仕事とは関係ありません。事業所の見学をさせていただいた際の写真です。仕事では社会人となったばかりであるため、常に新しいこと学ぶ毎日で、まだまだ仕事には慣れることはできていませんが、一日でも早く周りから信頼される技術者になることを目標に、充実した日々を過ごしております。

今回の寄稿をきっかけに、土木海洋会関東支部の活動にもできる限り参加していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



弊社事業所の風力発電

編集後記



東京に転勤してきて1年半が経ちました。前任地大分では、土木海洋会については、毎年名簿を送ってくるぐらいで特に活動らしきことは何もしていませんでした。こちらに来て、同じ会社の黒坂幹事長のお誘いで幹事をやらせていただき関東支部の活動に参加してきました。いろんな方と出会い楽しい時間を過ごすことが出来ました。

秋には猿島でのレクリエーションを予定しています。この広報誌を見られた方、是非とも参加をお待ちしております。

愛大 土木海洋会 HP <http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~dokai/>
(環建12 塚原)



2011 年度秋のレクリエーション 横須賀にて

リニア新幹線工事現場報告

岩崎 公平 (海洋54)

東海道新幹線が 1964 年、東京オリンピック開催年に開業してから48年が経過しました。その間、乗客死亡事故が1件もなかったのは驚異的なことです。また数分刻みでダイヤ通り正確に列車が運行していることも、我が国の技術力が海外から高い評価を得ています。

でも日頃きちんとメンテナンスしていても半世紀経過しているので全体的には人間と同じで老朽化し、加えていつ起こってもおかしくない東海、東南海、南海沖地震の津波、震災に遭うと、“アウト”になるでしょう。

そこで計画されたのが海から離れて少なくとも津波には遭わない中央リニア新幹線。この計画はもともと 成田空港と関西空港を24時間稼働させ、両空港を 1 時間余りで結び、どちらかの空港がダメになっても、1 時間で移動して世界へ離発着しようというジャパンコリドール(回廊)プランによるものです。

現在の計画は2027年に品川から名古屋まで、2045年に大阪まで全線開業です。ルート図を図1に示します。リニアモーターカーの開発実験は宮崎で開始され、その後実用線も見越して実験線は山梨へ移されました(写真1)。

東日本大震災後、津波被害が甚大ではない危機感が募り、リニア新幹線の必要性がますます高まり、山梨では着々と延長工事が進んでいます(写真2)。工事は土木海洋会のメンバーの会社も担当されています(写真3)。

料金は現在の東海道新幹線と同等で検討されており、品川と大阪は15000～17000円。私の住む山梨から品川まで10～20分(途中神奈川県相模原の駅に停車)でしょうか。

愛媛大学キャンパスイノベーションセンターまで30分もあれば着くでしょう。でも一つ心配があります。土木海洋会でこたま飲んだ帰路、寝過ごして名古屋、大阪まで行ってしまいそうです。



図1. ルート図

(南アルプスルートで決定)



写真 1 . 山梨県の実験線



写真2. 山梨県の工事現場



写真3. JV 工事会社